

第4回静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会 議事録

日時	2024年7月1日(月)15:00-17:00		
場所	静岡庁舎新館 9階特別会議室		
委員	氏名	所属・役職等	専門
	中村 英夫	日本大学 理工学部 教授	都市計画
	須藤 智	静岡大学 グローバル共創科学部 教授	地域活性化・行動心理
	三浦 詩乃	中央大学 理工学部 都市環境学科 准教授	都市・地域デザイン
	平井 崇士	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部企画開発部担当課長	交通事業者
	大坪 雄次	静岡南警察署 交通課長	交通管理者
	中村 直保	静岡市自治会連合会会長	地域代表
	名波 昌巳	駅南銀座振興会会長	地元経済活動代表者
	田代 卓靖	公募委員	市民公募
	浅野 美幸	公募委員	市民公募
	安本 花梨	公募委員	市民公募
	増田 郁理	公募委員	市民公募
	井藤 喜美江	NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか 理事静岡市女性会館館長	女性・子育て
	牧野 善浴	特定非営利活動法人 静岡市障害者協会会長	バリアフリー
	根来 晃司 (欠席)	商業組合静岡県 タクシー協会静岡支部長	交通事業者
藁科 孝佳	しずてつジャストライン株式会社 取締役運行企画部長兼輸送計画室長	交通事業者	

発言者	議事
	<p>(提出資料)</p> <p>資料0 次第</p> <p>資料1 委員名簿・席次表</p> <p>資料2 第4回静岡駅南口駅前広場再生委検討委員会 議題資料</p> <p>(次第)</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 第3回検討委員会の振り返り 及び 今後の検討事項について</p> <p>(2) 論点1：求められる広場の機能と配置</p> <p>(3) 論点2：駅前広場と周辺街区との連携</p> <p>3. 閉会</p>
<p>第3検討委員会の振り返り 及び 今後の検討事項について</p>	
<p>中村(英)氏</p>	<p>ご説明ありがとうございました。ただ今、スケジュール、前回の振り返り、障害者乗降場、交通のシミュレーション、ご報告があったわけでございますけれども、ご質問等はございますでしょうか。コメント等でも結構ですが、何かございますか。牧野委員どうぞ。お願いします。</p>
<p>牧野氏</p>	<p>障害者協会の牧野です。前回も前々回も、多分私、障害者の声を聞いてほしいというふうな発言をしました。視覚障害の方が多いのですけれども、駅周辺には通所が何か所かあって、相談機関もあります。車椅子の人たちはいろんなところで発言するものですから、意見を拾えているのですが、視覚障害の人たちはあまり発言がないもので、声を拾っていただいて、非常に評価しています。どうもありがとうございます。</p> <p>ですけれども、通所施設に出かけている人たちは、そこそこ活動的な人たちです。今回、一番私として配慮していただきたいのは、情報を視覚から取っている私たち、晴眼の人たちに比べて、視覚が不自由な人たちのほうが車椅子よりも配慮しなきゃいけないということです。これは、私どもの業界では常識になっています。</p> <p>目が見えないことによって得られる情報が少なくなります。人は7割8割の情報、目からなんですよね。視覚が不自由な人たちがこうあってほしいみたいなことは尊重していただきたいと思うんですが、他の障害の人たちとの競合するような部分についてはあまり調整しないまま各々が要望をおっしゃるもので、その調整は必要だと思います。</p>

	<p>前にも申し上げたかもしれませんが、車椅子の人と視覚障害の人が競合するような場面があります。点字誘導ブロックは車椅子の人にとってはぼこぼこしていて邪魔になるみたいな話はあるんですが、点字誘導ブロックがくねくね曲がっている、または曲線になってるっていうのは、ご本人たちからすると非常に分かりにくいというお話なんですよね。</p> <p>このことは、車椅子の人たちは、僕たち目が見えるから大丈夫だよって話になって、一回そういう議論があった時には車椅子の人たちが譲り、視覚障害の人たちを最優先にすべきだということになりました。このような話が私の中にあったものですから、視覚障害者の人たちのご意見を聞いていただきました。</p> <p>光の家さんがおっしゃった、駅に近ければ近いほど混み合うっていうのは、現状の駅前広場をイメージして言っていると思うのですよね。私は近くであればそんなに混み合わないのではないかなと思っています。どちらにしても、移動とか社会参加に困難のある人たちの声を聞いて、意見の反映を考えていただくことは、非常に助かります。よろしくお願いします。</p>
中村(英)氏	<p>はい。どうもありがとうございます。確かに、この8ページのヒアリング結果を拝見すると、障害のある場所によってやはり違うんだなというのを改めて感じます。一方で今牧野さんから話があったように、確かに今の空間を想定してのご意見だったということも可能性としてはあります。オープンハウスの中でも模型や3Dなど、何かイメージできるようなものが用意されて、ご意見伺うようなことを予定しているようです。具体的なイメージが伝わるような中で、また改めてご意見を伺うということも必要でしょう。</p> <p>また、牧野さんがおっしゃったように、いろんな立場の方、いろいろな方がおられる中での相互理解、ダイバーシティーの社会の中での在り方ということになると思いますので、ぜひそういったことが進むような形で進めていただければと思います。どうぞよろしくお願いをいたします。</p> <p>他に、ただ今頂いたというか説明いただいたことに関しまして、コメント、ご質問等ございませんでしょうか。なければ次の議題のほうに進めてまいりたいと思います。それでは、論点1につきまして、まず事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>論点1：求められる広場の機能と配置・学生アンケートの結果について</p>	
中村(英)氏	<p>はい。非常に多くの方にアンケートいただき、集計いただき、どうもありがとうございます。また、まとめていただいた内容も、市が作った資料かと見間違えるような、あるいは最先端のテクノロジーも使っていただいて、非常にイメージが湧く資料だったんで、大変ありがとうございます。非常にインスパイアされるご提案いただいたかと思えます。どうもありがとうございます。</p>

	<p>た。</p> <p>今、浅野さん、安本さんのプレゼンもありましたが、その前の市のプレゼンも思い出していただきながら、論点の1ということで、まちのロビー空間にふさわしい広場という形で、広場機能、配置、あるいはその使われ方、使い方といったようなことについて、2つの資料も使いながら、それぞれご意見やコメントを頂ければというふうに思います。どうぞよろしく願いをいたします。</p>
増田氏	<p>増田です。よろしくお願いします。大学生の方々、素晴らしい発表をありがとうございました。求められる広場の機能の中で、先日テスト的にされた、21 ページにあるイベントなんですけれども、実は私も大規模な長期間のイベントをやったことがあります。私の店が清水のほうにありまして、清水駅のみなと口のほうと、ドリームプラザさんのほうを借りて開催しました。エスパルスドリームプラザさんのほうは、津波が来た時用の上れるスペースが船乗り場のほうの側にあると思います。その下の空間を使って、東北の復興支援のかき小屋を、2~3 カ月ちょっとでさせていただいたことがありました。その時に、テントを入れて、そこで炭焼きをしてかきを買っていただき、焼いていただくというような、イベントをやりました。年始からだいたい3月ぐらいまでというふうに予定してたんですけれども、結構人気だったので、延長したところ、延長したその日に春一番でテントが全部持ち上がってしまいました。けが人は出なかったのですが、損失が300万円ぐらいになって、結果的に断念せざるを得ない状況になりました。何が言いたいかというと、結構テントって、かなり頑丈に重りを付けていても、大きな風が吹いた時、特に連結してる時は一気に持ち上がってしまって、風が吹く場所は非常に危険です。けが人が出るかもしれないことを考えた時に、今このような形で、簡易テントを出しているのを見ると、事故が非常に怖いなというふうに思いました。</p> <p>先ほどの大学生の方が提案されたようなコンテナとか、キッチンカーとか、何か備え付けのもの、絶対に飛ばないようにものを使ってイベントをしないと、駅前なので、非常に大きな事故につながってしまうというような懸念があります。そのあたりは今後のイベントをやる際に、施設として考えていただきたいと思いました。</p> <p>もう一点なんですけど、清水駅のほうのみなと口側ですと、実は大きなイベントやる時って、電気を借りる場所がないんですね。なので発電機を持ち込まなきゃいけないってことがあります。あそこは、今変わってるかもしれないですが、当時はコイン式で、大量に区役所からメダルをもらってきて、電気のところに定期的に、1時間ごとにメダル入れないと使えないっていう</p>

	<p>ような形になっております。</p> <p>最近簡易式の使用を使った爆発事故とか増えています。そういった点でも、いろいろと設備面ですね。電気とかそういった部分っていうのは整えないと、大きなイベントなどは怖いなというふうに思いました。</p>
中村(英)氏	<p>どうもありがとうございます。実際の例を使って、ご注意といいたしめようかね、お気を付けいただきたいことということだったかと思えます。他、いかがでしょう。他にございましたらお願いします。</p>
田代氏	<p>田代です。22 ページの今、市のほうからご提案あったゾーニングですね。よく考え抜かれているかなと思うのですけども。大学生の方の、屋根が欲しいっていうアンケート結果や、増田さんのテントの事故の話の話を踏まえて、技術的に可能であれば、22 ページの1番と4番と2番、ここを全体的に、大きな屋根を、駅のコンコースから覆うことができればいいと思います。バス・タクシー乗り場、一般乗車場ですね、降りたところからもう屋根があつて、濡れないで駅に行ければいいのかなと思います。ただ、屋根は閉塞感っていうか開放感には欠けると思うんで、そのあたり、技術的に可能であれば何か透明な屋根で、1番、4番、2番あるいは3番を、全体を覆えたらいいかなと感じました。</p>
中村(直)氏	<p>私としてはここを使う人は意外と駅へ行く方が多いと思うんですよね。そうすると、雨が降った時に、何か通路側でも屋根が欲しいなと思います。ただし、一番心配なのは、柱が多くなると、もうその中の広場自体があんまり有効的じゃないだろうと。そうなった時にこのエリアに、全部の屋根が一つになるような連結をすれば、意外とお互いに力関係が釣り合い取れるんじゃないかなと思うんで。広場をうまく利用しながら、建物も力学的に考えてもらうのも一つの手じゃないのかなってふうに思うんですけどね。</p> <p>全部屋根かけるとやっぱり閉鎖型になってね。この面積、皆さん、広いようだけど実際に行ったら全然狭いですよ。自分がそこで住んでますからよく分かるんですけどね。スルガ銀行までの距離っていうのは大したことないですよ。ここが15メートルぐらいの広さですから、20メートルの40メートルと違って、そんなに広くないっていうことなので。</p> <p>その中にもものを建てると、もうその広場自体がすごく閉鎖型になるし、本体の静岡駅自体があれだけ大きくなっているところに、小さいものを建てても、防災面を考えるとより狭い空間になるので、危険かなと思います。もっとその辺は議論する必要があるのかなと思いました。</p>
中村(英)氏	<p>はい、ありがとうございます。おっしゃるとおり、使い勝手というか、広がり、実際の構造物と、それから安全性とかですね。いろんなことで、なかなかトレードオフの関係がある中で考えなきゃいけないと、そういったご注</p>

	意だったかというふうに思います。その他、いかがでしょう。
大坪氏	<p>南警察署の交通課長、大坪と申します。メリット、デメリット検証しなければならぬ話ですが、道路の引き方を工夫すればもう少し利用空間が広がるかなと思います。例えば 22 ページに描いてある広場全体の図面なんですけれども、お出迎えの空間①ってあって、その南側に泉町豊原町線って、ちょっと薄いですが、道路がございます。新ロータリーオープン後にはここを一方通行路として西側にしか行けなくなると伺ってはおります。</p> <p>ここは、実際西進方向が 1 車線と東進方向が直進と右折車線で、合計 3 車線と、割と幅員は取れてる部分にはなると思うんですが、一方通行路とした場合に、ど真ん中に引き直すのか、それとも南側にちょっと寄せて引き直すことで、北側の歩道部分や広場空間をあえて広げることも考えられます。</p> <p>1 番のお出迎え空間から南に進んでいきますと、広場の幅員がぐっと狭まることで、イベントとかお祭りとかやってる時に、人の滞留とか転倒事故とかが発生する可能性がありますので、もし北側の歩道側を南にオフセットして一方通行路を設ければ、北側の空間が広がって、もう少しイベントとかにも活用ができたり、安全確保のための空間になったり、そういった活用方法があるのではないかということを感じました。</p>
中村(英)氏	<p>どうもありがとうございます。またこれから細部の検討がありましようけども、今みたいなことも有効ではないかということでございます。それじゃあ浅野委員、お願いします。</p>
浅野氏	<p>先ほど屋根の話が出たと思うんですけども、先ほどのアンケートの中でも、屋根付きの道とかあったらいいよねっていう意見が出まして。検討はしていたんですけども、確かに屋根があると日陰ができるので、滞留時間は向上するものですし、あとはできるイベントの幅も広がるという点で、すごいいいなと思っていました。</p> <p>ただ、維持費がすごいかかるという点と、耐震性の問題、あとは大雨とか突風などの災害への対策っていうのも、屋根にももちろん必要になってくるわけですね。かといって、何かスタジアムみたいな、そういうがちがちの屋根にしちゃうと、先ほど申し上げたみたいに、やっぱり視界がふさがって閉塞的になっちゃうなっていうことを、検討していました。このような面も含めて皆さんには検討をしていただきたいなと思います。よろしくお願いします。</p>
須藤氏	<p>この論点 1 で、配置とか使い方に関してはとてもよく整理されてると思っ ていまして、いろんな使い方が将来見えてくるなっていうふうに感じていま す。いろいろ、空間の利活用例とかで、市民の方が使うというところで、さ っきのテントとかの話もありましたけれども、イベントとかできる空間がで きるんだろうなというのは想像が付くわけです。</p>

	<p>ただ、問題として、スペース作るのはいいですし、いろんな、何かやる余地をつくるのもいいんだけど、これを誰がマネジメントするのかっていうのが結構重要なかなと思っています。今、いわゆる箱の話をしているわけですが、これ、結局月に1回、月に2回、定期的に何かイベント組みましようねって言って、じゃあそれを誰が管理してやってくのかっていうのも結構重要な課題かなと思っています。</p> <p>そのあたりも、実はこの委員会とかで、作るだけじゃ駄目で、ここをどういうふうに活性化するかっていう視点で、人のことも考えましょうということをご議論いただくといいかなと思っています。それが、ここに関わってらっしゃる、いわゆる企業さん、公共交通機関さん、あとは自治会の皆さんで、やっぱり何かしら、どうにかしましょうっていう話し合いをぜひしていただくしかないのかなとは思っています。そういうことも含めて将来を考えると、このスペースが実際どう使われるのかなというのが見えてくるんじゃないかなと思います。以上です。</p>
中村(英)氏	<p>ありがとうございます。マネジメントについての重要性という形でのご指摘だったかと思います。ありがとうございます。他はいかがですか。はい、じゃあ井藤さん、どうぞ。</p>
井藤氏	<p>井藤です。今、先生のほうからお話ありましたけれども、ほんとに誰が使うのかによって使われ方っていうのは変わってくるのかなというふうに思っています。23 ページですかね。お出迎えの空間っていうところで、例えばマルシェとかイベントとかを常設でやるのか、それともスポットで月1回程度なのかによっては、求められるものが変わってくるのかなというふうに思いました。</p> <p>イベントとかをやりたければ、電気と水は使えるような形で整備しなければいけないですし、災害時それが役に立つのかもしれない。また、屋根付きのベンチなどを固定してしまえば、そこは自由には使えなくなるという面もあります。例えば福岡で屋台が夜になると出るみたいに、定期的にキッチンカーやマルシェが行われるということで想定してつくるのか、それとも市が定期的にイベントをプロデュースしていくとあっていうことで使っていくのかによって、ここに求められるものっていうのが変わってくるのかなというふうに思います。</p> <p>あと、バスとタクシーの乗り降りが近いということなので、待つ人の安全と天候を考えると、屋根は欲しいと思います。しかし、屋根を設けると、維持や暗くなるという課題もあります。4番のサービス機能の在り方とも関わってくると思うのですが、ここをどんなところにするのか、何を設置するかによって、1番のお出迎えの空間っていうのは求められてくるものが</p>

	<p>変わると思います。4番の屋内を想定したサービス機能、例えば北口の地下にある一茶はすごくいいなと思うんですけども、北口の近くということもあって、少し利用しにくいのかなというふうに思います。それだったら、駅の南口であれば、新幹線から降りた方とかでも、お茶の呈茶とかで静岡をアピールできるのかなというふうには思います。でも北と南の両方にある意味があるのかなとか、その辺の課題は検討していく余地があるのかなと思いました。以上です。</p>
<p>牧野氏</p>	<p>障害者協会の牧野です。今のおっしゃったサービス機能のところがどうなるのかっていうのが見えないのが、非常に不確定な要素になっています。話を聞くと、トイレとか待ち合わせとかカフェ的なものがある2階建てくらいのところを想定しているというようなお話でした。それがもう少しはっきりしないと、その近くにどういうふうな機能にしましょうっていうのは仮定の仮定になっているもので、難しさが漂っています。ということで、サービス機能がどこまでかって話と、外側との連携という話は、重要なかなと思いますので、そろそろ具体的に考えたほうがいいんじゃないかっていうのが私の意見です。</p> <p>二つ目に、ちょっと、改めて考えたんですけど、これ、別にいちゃもん付けるわけじゃないんですけど、お出迎えの空間っていうふうに名付けているのですが、一般車のパーキングのところでお出迎えの人たちが来て、駐車して駅舎まで歩くのかなと思います。バスやタクシーでお出迎えに行くっていうパターンはそんなにならないような気がするんですよね。ここをどんなふうに整理するのかなっていうのが浮上してきた疑問です。</p> <p>三つ目が配置のところ、ちょっと過去の話だけど、ここでまだ決まったわけじゃないっていう話なので話します。10ページのところでA、B、C案がありました。資料ではC案じゃなさそうな感じにはなっていて、今A案の想定で資料が作られているんですけども、私としてはB案になってほしいなと思っているんです。B案だとすれば、2台が障害者用の駐車場が何とか確保できてうんぬんのお話になっている。でも、説明を受けてもよく分からないのが、東側のほうに行く歩行者の通路が狭くなるというような話なんですけれども、そこら辺は全体的に考えて、公共交通のほうのロータリーの位置だとか、真ん中の広場の空間の幅だとか、いろんなこと考えればもう少し何とかならないかなっていうのも、ちょっとご検討いただきたいです。</p> <p>四つ目に、屋根の話。大屋根みたいな造る話は、多分私のイメージでは金沢駅のような感じがします。金沢駅も、そんなにカバーはしてないけど、ずいぶん高いところに立派な屋根があって、透明だし、あれはどっちかっていうと雨より雪のためかというお話だとは思いますが、それに近い話を想定して</p>

	<p>るんだとすると、私が屋根とか点字誘導ブロックとか、アクセスの距離だとかっていうふうな話が、だいぶ解決するんですよ。柱はそんなに多くないだろうから、構造的な問題を考えていただいて、大きな屋根がせり出してくれば、直線で点字誘導ブロック作っても、バランスが変にはならないなと思っています。</p> <p>何でそういうことをこだわっているかっていうと、視覚障害の人が動く話と、車椅子の人も、傘を差せない人っていうのはいるんですよ。乗降から始まって、乗降の、一般車と障害者の乗降場のところからで、ハッチバックのように後ろを開けて乗降してっていうお話をすると、だいぶその部分でぬれることが多いです。そこから屋根を張り出してほしいみたいな話は、具体的なニーズとしては出てきています。そこから駅舎のほうに向かってどんなルートにするかは、だいぶ悩ましいです。</p> <p>また、もしかしたらサービス機能の建物の中に入ることが、実は駅に来たって感覚なもんですから、そこまで行けばいいんです。だから、改札までちょっと遠くても大丈夫っていうお話がここに関係します。現在も、改札からは遠いんですよ。今後、JRさんが改札をどうするのか分かりませんが、あまり動かすとも思えませんけれども、新幹線は近いところからもっと入ってほしいとかいうようなことは希望としてはあります。</p> <p>最後に、障害者団体で話をした時に、そこにサービス機能があるような2階建てのものがあるんだとすると、新幹線の駅に直結できるような改札口なのかルートなのかがあってくれば、それは非常にいいというお話がありました。そうすれば、もう駅に来たような感覚になって、そのまま、エレベーターで2階に上がって、もうすぐに改札に行ける。非常に利便性は高まるっていう話です。</p> <p>4つ5つくらい言いましたけれども、具体的にはそういう話がございしますので、ぜひご検討いただきたいと思います。</p>
名波さん	<p>浅野さん、安本さん、今日は楽しいプレゼン、ほんとにありがとうございます。このお出迎えの空間っていうところなんですけど、僕、すごい気になっているのが、このお出迎えの空間っていうのは何ぞやっていうことなんです。先ほど中村委員が言いましたけど、確かに空間自体広くないんですよ。こんなちっちゃいところで、お出迎えの空間は要らないんじゃないのかなって。</p> <p>それだったら、サービス機能の1番と4番を一緒にしてもいいんじゃないかなと思います。そこで、例えば、先ほどテキストマイニングやったところに、一番大きく出てるのが待ち合わせっていうゾーンなんですよ。もう、全てが待ち合わせになっているんですよ。だから、やっぱり静岡駅南口、北</p>

	<p>口もそうですが、待ち合わせ場所なんですよ。僕、この前金沢の駅へ、3週間くらい前に行ってきて、見てきたんですけど、あそこは観光の町で、ものすごいお迎えの空間っていうのを、大きくつくってあるように見えました。ここまでは静岡市としては要らないんじゃないのかなと思いますが、お迎えは必要だと感じました。</p>
<p>田代さん</p>	<p>要はデザインの力が結構重要じゃないかなと思っています。先ほど須藤先生がおっしゃったところの、マネジメントする人も重要であるっていう話があったんですけど。この新潟駅の広場みたいに、こんな施設とかがあったらいいねっていうところにも関係します。</p> <p>イベントをやってない時は閑散としているんじゃないなくて、イベントやってない時も人が集まるような仕掛けや、何か集まるようなデザインが必要だと思いますね。待ち合わせができる場所であったり、おしゃべりできるようなベンチがあったりとか、水の施設があったりとか、そういうようなデザインを至るところにちりばめて、イベント、マルシェとかをやってなくても人が集うような仕掛けづくりは、デザインで何とかするんじゃないかと思います。</p> <p>あと、牧野委員がおっしゃったような、金沢駅の屋根ですよ。鼓太鼓の伝統工芸を生かした、非常に象徴的な門があるんですけど、実は静岡にも伝統工芸ってあります。匠宿っていうところに行くと、静岡市の13の伝統工芸がありまして、そこに、例えば駿河竹千筋細工っていうものがあるって、非常に繊細な竹細工があるんですけど、静岡市の市民であっても静岡にそういう伝統工芸があるっていうことを何も知らない人が多いと思います。</p> <p>静岡は富士山とか海とか、自然、食べ物だけじゃなくて、伝統工芸もあるよっていうようなところを示す、何か象徴的な、モニュメント的なもの、これもデザインの力だと思うんですけど、そういったものを作って、静岡の、例えば匠宿への、まちの回遊へのきっかけにするとか、そういう一つの象徴的なデザインの力を何とかこの空間にも持ってきていくと、少し変わった世界が出てくるんじゃないかなというふうに思っています。</p>
<p>須藤氏</p>	<p>お出迎え空間についてなんですけれども、いろいろご意見あって、なるほどと思って伺っていました。このお出迎えっていうのが言葉として適切かどうかっていうのは、いろいろなご意見あると思います。ただ、今後も観光客がどんどん静岡に来てほしい、インバウンドの方が来てほしいっていうことを想定した時に、ここのバス、タクシーの利用率の向上と、石田線のところの観光バスのキャパの問題とかがあって考えると、本来これからの観光政策とかがきちんと進んでいったら、多分ここは相当、静岡に初めて来た人たちが増える場所になるはずじゃないかという想定をしたほうが、静岡市の将来のためじゃないかと感じました。</p>

	<p>そういう意味で、お出迎えて言葉っていうよりは、ここにやっぱり、静岡に初めて来た人たちの最初の滞留する空間になると思います。だから、そこはある程度空間を取っかないといけない。さらに、日常生活でバス乗る方とかも増えてくるので、多分ある程度の空間が必要です。</p> <p>あつてはいけないかもしれないけれども、あんまり人が来なかった時に、日常生活で使う人たちのマルシェとかが入ってきてもいいだろうし、お店が入ってきてもいいかもしれないっていう意味で、ここの空間は、これからの静岡の可能性をしっかりと残したスペース感っていうのはあるべきじゃないかと。だから、そこをお出迎えとするかどうかは、言葉の使い方なのかなっていうふうに思いました。</p>
平井氏	<p>JR 東海の平井です。駅前広場につきましては、これまでも委員会で、歩車共存ということで、両立できる計画をしていこうということで。今回の配置計画を見させていただきまして、先ほどのお出迎えの空間は、やはり駅からコンコースを出て最初の、静岡に新幹線で来られた方を含めて、出た時の顔となる空間ですので、見通しが取れることや、開放性があるということは、静岡にとっても非常にいい空間というか。そういうことも踏まえて、個々の空間の配置をを考えていくのがいいのかなというふうに思っています。</p> <p>あと、サービス機能につきましては、ちょうどこのみほしるべの例を静岡市さんから示していただきまして、これは外観ですね。で、先ほどの学生さんの絵ですね。これ、どこの絵かなと思ったら AI で作られたということで、すごいなと思って見たんですけど。これ、両方とも 2 階建てでガラス張りで、割と雰囲気のある施設ということで、共にカフェとか待合機能ということで、おっしゃっている考え方も一致して、こういう方向性で進めていくといいのかなということで。ここもまちのロビー空間ということで、ここの魅力的な設備の在り方というのは重要かと思っていましたので、そういうところである程度イメージとして共有できたのは良かったかなと思っております。</p> <p>あとは、先ほどのお出迎えの空間であつたりとか、気軽に立ち寄れる憩いの空間、ありますけど、やはり歩車共存というところで、タクシー、バスの乗降場と一般車乗降場との間の離隔というか、歩行者の方がストレスなく回遊できる空間、幅っていうのは確保した上での空間のベンチであつたり設備とかを考えていく。これは今後の詳細設計の検討になっていくと思いますけど、というのを考えていく必要があるのかなと思います。</p> <p>あと、②につきましては、その東側で高度利用想定エリアってありますので、ここも高度利用想定エリアのある意味玄関口というか、その入り口の部分になりますので。そこの兼ね合いで、そこの配置も、常設はなかなか難しい</p>

	<p>のかなという印象はありますが、非日常的に、たまにイベントとかで設置するというのイメージが湧きますし、常設でやると高度利用想定エリアのところの入り口がちょっと隠れてしまうってところも、少し今後の検討課題で検討いただければなというふうには思っております。</p> <p>あと、大屋根につきましては、アンブレラフリーというのは、大屋根にしろ小さなシェルターにしろ考えていく必要はあると思います。大屋根は、まあの、静岡のほうの最初の玄関口で、そこに大屋根があるほうがいいのか、開放性を求めていくかというところのトレードオフだと思うので、これは結構議論分かれるところだと思います。せっかく道路を廃道してまで開放的な空間整備というところをコンセプトに考えられているので、開放性を追求してもいいのかなというふうに思いました。</p>
藁科氏	<p>スペースが限られている中で、3つの機能を、このスペースの中に押し込めればもちろんいいんですけども、それは厳しいなという中では、北口を合わせて一体的にこの機能が満たされていけばいいわけだと思います。そのあたりのバランスというか強弱があってもいいのではないかなと思いました。</p>
中村（英）氏	<p>はい、どうもありがとうございます。皆さま方からいただいたご指摘を市のほうで記録いただいたと思います。あと、私も一言だけ申し上げますと、広場のガラポンといいますかね、完全に再整備になってまいりますし、少し時間のかかることと思います。そういう中で、社会実験じゃないですけど、いろいろな使い方をお金のかからない範囲でやりながら、これだったらこんな問題もあるんだね、ということを少し体感されると、皆さんイメージが分かってくるのかなと思います。</p> <p>完成までの時間をうまく使っていただいて、いろいろな姿というのを市民や駅利用者の方々に体感してもらって、反応を見ながら最後決定してくというような、可変性みたいなやつを大事にさせていただけたらいいのかなというふうに思いました。ありがとうございます。非常にいろんなキーワードを頂いて、これから具体化に向けた検討の糧になると思いました。ありがとうございます。じゃあ、次の論点もありがとうございますので、論点1についてはこの程度といたしまして、論点2のほうですね。駅前広場と周辺街区との連携、こちらについて議論したいと思います。まずは資料の説明をお願いします。</p>
<p>論点2：広場と周辺街区との連携</p>	
中村（英）氏	<p>ありがとうございました。駅前広場と周辺街区との連携ということで、5つの道路の将来のイメージですかね。それから、特にペDESTリアンデッキの、広場内での扱いについてもご意見を賜われればということでございました。どこからでも結構でございますので、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>

名波氏	<p>はい、名波です。まず、論点2の30ページですね。この1番、2番、3番と写真があるんですが、駅前広場から東へ伸びる道路について少し狭いものですから、ちょっと広げたほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>それと、今話があったペDESTリアンデッキですか。これもちょっと、再開発につながっているため意見を聞いたほうがいいと思うんですけど、正直言って外観、格好悪いと思うので、取ったほうがいいんじゃないかなとこれを見て感じました。この前も駅前行って全体像を見ましたが、やっぱりあそこはちょっと邪魔かなと思いました。</p> <p>議題が戻っちゃって申し訳ないんですけど、先ほど言ったお出迎えの空間の件なんですけど、僕、迎えがコンコースだとは分からなくて、建物のある位置がコンコースだと思っていました。すみません、変なこと言いまして申し訳ない。この場をお借りしておわび申し上げます。</p>
中村(英)氏	<p>今のは道路のお話なんですけれども、狭くて広げたほうがいいなとおっしゃられたのは、30ページで言うと、駅の前に近い辺りは幅員22mになっていますね。22mあって、一部はもう広場になったんですけれども、その先が6mぐらいの、ほんとに歩道のない道路になっている。この6メートルが狭いとおっしゃるんですか。</p>
名波氏	<p>6メートルが狭いということです。</p>
中村(英)氏	<p>ああ、なるほど。この写真のところがちょっと危ないっていうか狭いよねという話ですね。広げたほうがいいですねというご意見ですね。</p>
名波氏	<p>もちろん危ないっていうのもあるんですけどね、やっぱり、小学校も近いものですから。</p>
中村(直)氏	<p>中村ですけども。今のお話で、私もこのところにおいてちょっと勘違いしていたのが、今の22メートルがそのまま、久能街道のNHKのどこまで行くっていう想定を小さいころからしていたものですから、後々、市の当局から聞いたら、拡幅の工事は予定してませんよという話になっていて、それはつらいなと思っています。そして、今でもバスが、意外と観光バスもあの狭いところを、久能街道の広い通りから入ってくることもあったりします。</p> <p>人の土地ですからあんまり簡単には言えませんが、ここの開発と同時にそういうこともしていただけると、実際には住民の方々もありがたいんじゃないのかなというように思います。NHKの静岡支局が今までよりも大きくなりましたので、いろんな芸能人が静岡駅からみんなぞろぞろ歩くわけです。この細い道をずっと歩いてNHKまで行く時に、車で走るということはなかなか難しいところがありますので、ぜひ当局で頑張ってください、拡幅がされるといいのかなというふうに思います。</p>
中村(英)氏	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>

増田氏	<p>増田です。よろしくお願いします。この駅の開発された後、この水の森ビルの前辺り、27 ページで行くと右側の部分の今の駐車場が半分なくなっている感じになっている。これは半分駐車場が残るようにするのでしょうか。というのも、今水の森ビルに入っている企業さんが、逆に駅の中まで迎えに行きたい、ちょっと待ってもらいたいみたいな車両が、結構ここに止めるのですよね。ここがなくなってしまった時に、おそらく水の森ビルで契約されている企業さんは、他のところの駐車場に契約したりするはずなんです。</p> <p>そう考えた時に、一般車両が止められる有料コインパーキングが、何か激減しちゃうような感じがするんですよね。その時の、その対応策が必要になる。例えば路駐が増えるんじゃないかとか、今ちょうど警察の方いらっしゃるのもあるんですけども、おそらく、例えば朝の時間帯とかに、先ほどレンタルスペースにするかもしれないという話があった石田街道の辺りとかも、広くなればもちろん路駐増えると思いますし、JR さんの前とかも今、路駐している方が多いです。</p> <p>あとは逆に、この水の森ビルさんとの間辺りとかも、今結構朝は一般の業者さんの搬送などの駐車が結構あります。そういった部分とかで、ところどころに、それこそ狭くなったり交通量が多くなる中で、路駐が何か増えるのではないかというようなところが懸念されます。</p>
中村(英)氏	<p>はい、分かりました。今のこの辺りのそういった路上駐車、あるいは時間貸し駐車場の、将来減るような計画になっていますけど、そのあたりは何かお考えが今、市のほうにはおありですか。</p>
事務局	<p>今、増田委員が言われた部分の駐車場の、駅前広場からちょっと外側の部分ですね。ここの部分は、今後も開発がされるだろうと想定されます。なので、このまま駐車場が残る可能性は低いかなと考えています。駐車場が減るってということについては、静岡駅周辺のちょっと遠いところも含んだ需要と供給のバランスでいきますと供給過多です。駐車場が多いという判断に至っております。</p> <p>あとは、路上駐車が増えるかなっていうところは、駅前広場、駅の利用者のお迎えとか降ろす人をできるだけ滑らかに、スムーズにするというところですね。前回議論したような一般駐車場を比較的大きく、全部で二十数台取って、かつ降車と乗車を分けましょうという計画を今、発想してるところです。</p> <p>なので、今のロータリーっていうのは、バス、タクシー、一般車全部入っちゃってるんですけど、計画では一般車が完全に単独になりますっていうところで、できるだけ一般車がスムーズに乗降できれば、外側に路駐することが減るかなと想定はしております。こればかりは、実際やっていった時の、外で使われる方への啓発なんかはしていくべきかなと思っています。</p>

増田氏	<p>ありがとうございます。そうですね。今、どこに駐車場があるのかっていうのも、結構南側とかも、北もそうなんですけど、あんまり把握できてないところとか、あ、こんなところに駐車場あったんだというふうに思ったりすることがあるので。例えばそういったアプリとか、何か分かりやすいものを使ってうまく流していただくことが必要なのかなというふうに思いました。</p>
安本氏	<p>多分検討されている中には入っているのかなと思いつつ、一応確認という形で話させていただきたいのですが、さっきの自分たちが実施したアンケートで、意外と駐輪場を使っている人とか、自転車で駅を利用するっていう方が多い中で、今この道路の断面図には、自転車があまり描いていません。歩行者と車とバスと車椅子の方は書いてあるんですけど、自転車は想定されていないように見えます。アンケートの中で、散歩で利用したいっていう方も結構いらっしゃったので、どう分けていくとか、分けないにしてもどのように安全確保をしていくのかということ、ちょっと大事にしたほうがいいかなというふうに思いました。</p> <p>さっきの増田さんがおっしゃっていた、駐車場や駐輪場っていうのもどこにあるかっていうのが分かってない方が実際アンケートの中にも多く見られます。アンケートの中で、無料駐輪場や料金を払ってでも駐輪場が欲しいっていう意見がありました。実際駐輪場はあるんですけど、それが知られていないっていう現状があるなというふうに感じたので、駐車場のアプリなどを作るのであれば、それに駐輪場っていう情報も入れるといいのかなというふうに考えました。以上です。</p>
中村(英)氏	<p>はい、ありがとうございます。自転車、あるいは駐輪場といったような問題でございました。はい、じゃあ大坪委員さん。</p>
大坪氏	<p>はい。先ほどから道路幅員の関係の話も出ておりますけども、やはりちょっと幅員が狭いところがあると思います。NHKに抜ける人が多いことや近くにある森下小学校の児童の安全は守らなければならないものになってきます。用地の関係もあって難しいかもしれませんが、歩道の整備を考えていただけたらなと思います。</p> <p>それから、路上駐車の関係が出ておりますけども。図面の④の道路のところはわれわれも、ロータリーに入り切らない車両が、④のところに逃げてきて止まる車が多くなることは懸念をしております。</p> <p>ですので、アスファルト舗装ではなくてインターロッキングにして、若干一般車両が入りにくい雰囲気道路づくりも必要ではないでしょうか。例えばロータリーから直接は入っていくことが、多分可能になってくるんでしょうけども、縁石を敷いて、一段乗上げてから進入していかなければならないようなところを作るなどの工夫をする必要もあろうかと思えます。</p>

	<p>それから石田街道のところの有料バスの区画なんかも、どういった形で枠を設けるのか、有料化を図るのかっていった部分の検討は必要になろうかと思えます。全く無料ですと、一般車も来て止めてしまったりですとか、予約してないバスが無断で止めてしまって、本来入るべき車両が入れないですとか。また、その有料区画を嫌って無料部分に止めたいっていうバスも、中にはいらっしょと思うので。そういったバスがどこに逃げるのかといった部分っていうのも、検討していかなければならないなと感じます。</p> <p>それから 1 点、ペDESTリアンデッキの関係を市のほうにお伺いなんですけども。今、市の部分と商業施設側が両方で共有しているっていう形になってるとのことだったんですけども、今のところ商業施設側の意見聴取っていうのはされてますでしょうか。もしあればお聞かせ願いたいと思います。</p>
中村（英）氏	<p>ありがとうございます。今、最後のご質問があった点、市のほうでいかがですか。</p>
事務局	<p>ペDESTリアンデッキは、この再開発のビル、再開発ビルが、水の森ビル、エスパティオ、サウスポット、3つあります。その3つともにつながっていますので、その3つとも、お話ししております。駅前広場がこういうふうに、今検討進んでいるよということもお話ししていますし、ペDESTリアンデッキを今後、皆さんと市と一緒に考えていきたいと思いますというもお話をしています。</p> <p>その中で、いろんな権利者さんがいる中で意見を聞いていると、残してほしってという方と、1階をメインとしてつながってくる駅前広場になってくなら要らないのではないかという意見と2つ分かれております。まだ結論が出せていないので、これをちょっと結論付けが、もう少し長期化するとは思いますが、今後、先ほど申したように市と3つの再開発ビルとで話し合いながら進めていきたいとは思っておりますが、ここに示したように市の部分、市の持っている広場の部分については、今ここで皆さんと議論をして、ちょっと方向性が示されればなとは思っています。</p>
中村（英）氏	<p>はい。今、デッキの、この青い市が管理されている、市が所有している部分については、さっきの名波委員のほうから、広場という面で見ると不要になるんじゃないかといったご意見もありましたけど、他に何かこのデッキ関係で。はい、牧野委員さんどうぞ。</p>
牧野氏	<p>デッキは、道を横断するのに、平面横断だと危険だからこれを造ったっていうのが一応の最初の理由だと思っています。</p> <p>もし、道を越えるための目的だとすると、計画ではその理由がなくなっただすよね。もう一つ、耐用年数はどうなんですかっていうのが、私は担当者に聞きたいんです。もうそろそろ寿命なのではないか、また、それならもう</p>

	<p>要らないんじゃないかと思っています。冷たい言い方になりますが、事業所さんで欲しいと思えばそっちが造ればいいしというのが私の意見です。</p> <p>それから、資料の図についてお願いなのですが、ここは車が行けるところなのか、車は行けないところなのかみたいなことを分かるようにしていただけるとうれしいです。また、対面通行の部分と一方通行の部分もよく分からない。写真だと標識があるもので、ああ、行けないんだっただよなっているのは理解するんだけど、そこが分かればもう少し議論が進むかなと思います。</p> <p>もう一つ、さっきから狭いと言われている NHK のほうに行く道も、図のところ、おんなじ調子で幅員が描かれているので、そこから狭くしたら、もう少し見て分かるかなと思います。やっぱこういう図って、見て分からないとあんまり議論にならないなと思っています。最後ですが、何かもう少し工夫をして、どこが①でどこのことを言っているのか分かりやすくしてほしいです。</p> <p>周辺の道路を広げるということについては、われわれもぜひやってもらいたいと思うんですけど、静岡でそういうことをやり始めると、短くても 10 年かかるとなっています。それをどのくらいのスパンで考えるかも含めて検討すべきかと思っています。</p>
須藤氏	<p>須藤でございます。今の話も含め、道を広げるとか、再開発エリアの問題に関して、やっぱり権利を持っている方々がこれから議論に加わるっていうのが重要なんじゃないかなと思っています。でも、その議論するまでに、今回の南口の再開発計画の大きなコンセプトと、どんなビジョンなのかというのをきちんとお伝えするタイミングが必要なかなと思います。そこできちんと合意を得ていくというプロセスをしっかりとやらないと、現実的に難しいなと思います。それも結局、これからのプロセスをきちんと考えなければいけないと思っていました。</p> <p>また、最終的に現実的な解になるのかもしれないけれども、やっぱりこういうふうに使えますよねとか、できますよねっていうところの理想的なビジョンお示しするっていうのも重要な気もしています。権利を持っている方々とこれからどのように対話してくのか、一緒にまちをつくっていくのかというところを、いろいろ計画を考えたらいいのかなと思いました。</p>
中村 (英) 氏	<p>論点 2 についてもいくつかご意見を頂きました。ペDESTリアンデッキについては、多分広場の使い方、使われ方との関係からこうあるべきだという感じと、もともと安全のために道路を渡らせる機能が、将来的に不要になるというところがあります。それから今あったように、実際にデッキがつながっている土地の方々のご意見を合わせながら検討していく必要があるということかとも思います。広場側の視点から見ると、今日は不要んじゃない</p>

	<p>かという意見が強かったかなと思います。どうもありがとうございます。今日、論点2つありまして、また浅野、安本委員さんから学生アンケートの紹介もございまして、広場がこういうふうにあってほしいよねといった部分について、さまざまなお意見頂けたかと思ひます。さらにこれを受けながら、8月のオープンハウス、9月10月のパブリックコメント、このあたりでより幅広い対話、あるいは意見を頂いてという形になってくるかと思ひますので、ぜひ市のほうでさらに検討・進行していただけたらと思ひます。それでは、今日、第4回の委員会としてはこの程度とさせていただきますよろしいでしょうか。事務局に進行をお返しいたします。</p>
事務局	<p>はい。中村委員長、委員の皆さま、ありがとうございました。今後のスケジュールについてお知らせします。オープンハウスを静岡駅コンコースにて8月9日金曜日と10日土曜日に行います。パブリックコメントは9月から10月にかけて実施を予定しており、詳細につきましては、また後日お知らせします。</p> <p>第5回検討委員会については秋ごろを予定しております。後日開催通知をお送りいたしますので、お忙しいところ恐縮ですが、ご出席いただきますよう、よろしくお願ひいたします。それでは、以上をもちまして、第4回静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会を閉会とさせていただきます。長時間にわたるご審議ありがとうございました。</p>